⚠ こんなときは…

炭酸水生成時に水が漏れる

●水位線より多く入れていませんか?
→容量を確認してください。P6ページを参照し冷水を水位線以上入れないでください。

●炭酸ガスを入れすぎていませんか?
→P6ページを参照に、1秒注入したら5秒間、間隔を空けてご使用ください。

●冷水を使っていますか?
→常温の水を使用すると泡が立ちやすくなり、溢れやすくなります。炭酸を生成する時は冷水をご使用ください。

●飲み口カバー付近から炭酸が漏れてくる。
→飲み口パッキンは正しく付いていますか?また、飲み口がしっかり締まっているか確認してください。

●生成機器に装着した時にボトルが垂直になるように取り付けられていますか?
→適正な位置に設置してください。

●炭酸生成機のボトル接合部のパッキンが経年劣化により消耗し隙間が生じ、漏れが発生することがございます。
→ご使用をお止めください。

炭酸が充填されない

→飲み口パッキンはついていますか?また、飲み口がしっかり本体に締めこまれているか確認してください。生成機とボトルから炭酸ガスが漏れている場合は本体との接合部を確認してください。

ご使用中に漏れる

→各パッキンはついていますか?また、飲み口がしっかり本体に締めこまれているか確認してください。パッキンを確認し、キズ、損傷、変色が見られる場合は部品の交換をしてください。**(交換部品はP11を参照ください。)**

飲み口がはずれない

→セーフリングは取りはずしてありますか?飲み口とセーフリングを一緒にはずそうとすると構造上ロックが掛かってはずれなくなります。その場合は一度、飲み口とセーフリングを締め込み、改めてセーフリング、飲み口の順に取りはずしてください。

お手入れ方法

使用後は、すぐにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジで行ってください。

本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯でやわらかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。水分をふき取り、十分に乾燥させてください。

ふたユニット

ふたユニットは丸洗いできます。やらわかいスポンジで洗った後、水洗いしてください。水分をふき取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

パッキンの洗浄後は乾いた布で水分をふき取ってください。劣化、ひびわれ、損傷がみられる場合は使用せずに交換してください。

⚠ お手入れ上の注意

●ご使用後は、すぐにきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。

●本体を洗った後は、すぐに水分をふき取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやもとを汚す原因となります。

●シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。

●本体やふたキャップの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。

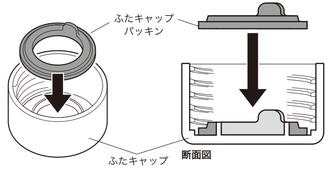
●本体・ふたキャップは浸け置き洗いなどはしないでください。

●ふたキャップを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。

●長時間ご使用にならない場合は、汚れを含めきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

パッキンの取り付け方

パッキンは正しく取り付けてください。
漏れる可能性がありますのでしっかり取り付けてご使用前にもご確認ください。



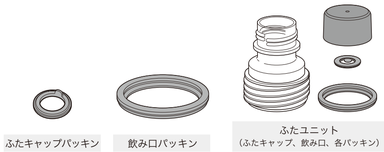
注意:パッキン位置、形状が異なることが御座います。現物の確認をお願いします。

交換部品

●ふたユニット、パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷等が無いかを確認し不具合がある場合は使用を止め、部品交換してください。

●炭酸水生成機を頻繁にお使いの方は早めに劣化する可能性がありますので、小まめに確認をおこない、キズ、損傷、変色が見られる場合は部品の交換してください。

※炭酸生成機メーカーの仕様変更に伴い飲み口形状が変わり、使用できなくなる可能性がありますのでご了承ください。



交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
https://www.atlasonline.jp

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には…

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたユニットを取り付けず、3時間程放置した後に柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

品名		ステンレス製携帯用魔法瓶
材料の種類	本体	内びん/ステンレス鋼
		口金/ステンレス鋼
		胴部/ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)
	ふたキャップ	ポリプロピレン
	飲み口	PCT樹脂
	セーフリング(飲み口カバー)	ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)/ポリプロピレン/ABS樹脂
	パッキン	シリコーンゴム
実容量		0.7L
通常使用容量		0.6L
炭酸生成容量		0.5L
保冷効力		9℃以下(6時間)

*保冷効力とは室温20℃±2℃において製品に冷水をふたキャップの下端まで入れ、水温が4℃±1℃になった時、ふたキャップをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。

MADE IN CHINA

最新のsodastreamの対応機種につきましては
右の二次元コードを読み取りになるか
または下記のURLからご確認ください。
https://www.atlas-scm.jp/asok-soda/

お問い合わせ

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店または下記お客様相談窓口までご連絡ください。

表示者 株式会社アトラス
〒192-0906
東京都八王子市北野町549-1第2石坂ビル

お客様相談窓口 TEL.042-660-8870
受付時間/9:00~18:00 月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
https://www.atlas-scm.jp/

Atlas

保冷専用

ステンレス炭酸ボトル 取扱説明書

SHUWAT -SODA KEEPER-

ASOK-700

このたびは、当社のステンレスマグボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

⚠ ふたユニットを閉める際は最後までしっかりと閉めてください。

●本品は保冷に優れた、「真空二重構造」ボトルです。

●本品は炭酸対応ボトルですが、ビールなどのアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがありますので注意してください。

●本品はsodastream※1に対応※2していますのでsodastream®にて炭酸を生成できます。その他の機器には対応しておりません。

※1 一部対応しない機種があります。ご注意ください。SODASTREAM®は、ソーダクラブ(シーオーツー)ゲーエムベーハーの登録商標です。
対応機種についてはP12のURLを参照し、ホームページで確認してください。

ご使用の前に

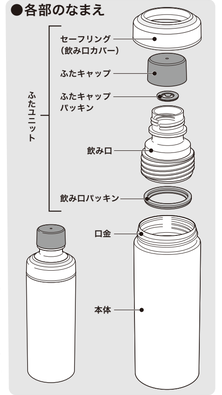
●はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたキャップのひびわれなどの不具合がないことをご確認ください。

●底面の製造ロットシールは、はがさないでください。

●はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ



⚠ ご使用上の注意 【警告】

⚠ 注意

- **本品は保冷専用ボトルです。温かい飲みものは入れないでください。**
  熱いものは絶対に入れないでください。やけど、変形の原因になります。
- **乳幼児の手の届くところには置かないでください。**
- **本品は炭酸対応ボトルですが、ビール等のアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがあります。**
  圧力によっては漏れるがことがあります。カバン等に入れる前は特に注意してください。
- **飲みものの保冷、炭酸水の生成以外の目的では絶対に使用しないでください。**
- **高温になる場所（サウナなど）や寒冷な場所でご使用にならないでください。**

- **飲みものの量は、取扱説明書5ページ右の図を参考にしてください。**
  入れすぎるとふたキャップが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- **ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また、火中に投じたり、ストーブの上に置くこともお止めください。**
  やけどの危険、または火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。
- **大きな氷を入れる場合はふたユニットをはずしてください。**
  氷は押し込まず、小さく砕いて入れてください。
- **電子レンジで加熱しないでください。**
  火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。
- **冷凍庫には入れないでください。**
- **本体の口金・飲み口に熱いやかんなどをあてないでください。**
  口金・飲み口の変形・キズ、転倒してやけどなどの原因となり危険です。
- **飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。**
- **ビールなどのアルコール類、炭酸飲料は冷蔵庫でよく冷やしてから入れてください。**
  飲みものの温度がぬるいと炭酸が抜けたり、噴き出しやすくなります。

⚠ ご使用上の注意

- **次のものは絶対に入れないでください。**
  - ■ **ドライアイス**
    （内圧が上がり、ふたキャップが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたキャップが破損して飛散することがあり危険です。）
  - ■ **牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの**
    （成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたキャップが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたキャップが破損して飛散することがあり危険です。）
  - ■ **みそ汁、スープなど、塩分や酸を多く含むもの**
    本体内側にはステンレス鋼を使用しています。塩分や酸によりサビの原因になります。
  - ■ **お茶の葉・果肉**
    すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。
- **においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。**
  お手入れのしかたに従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。**
  成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたキャップが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたキャップが破損して飛散することがあり危険です。
- **お茶などは早めにお飲みください。**
  長時間保存すると茶の色や味が変わります。
- **スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。**
  においの付着やサビ等の原因になります。
- **ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らさないでください。**
  飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、ものを汚す原因になり危険です。
- **ふたユニットが確実に閉まっていることを確認してください。**
  閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- **製品の構造上、湿度が高いときにふたキャップに水滴がつく場合があります。ご注意ください。**
- **炭酸飲料を入れた状態で横置きしないでください。**

- **改造・修理・分解は絶対にしないでください。**
  破損、事故の原因となり危険です。
- **ぶつけたり、落下などの衝撃を避けてください。**
  変形やわれ、保冷不良の原因になります。またふたユニットの破損原因になります。
  衝撃が加わった場合、しばらく時間をおいてからゆっくりとふたを開けてください。
- **運転中は危険ですので使用しないでください。**
  車内や衣服を汚す原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、外れて落下のおそれがあり危険です。
- **車内や直射日光の当たる場所等、高温になるところに長時間放置しないでください。**
  飲みものの温度が上がり、圧力上昇により飲みものが噴き出してものを汚す原因になります。
- **持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。**
  持ち運ぶ際は、ふたキャップをきちんと閉め、ふたキャップ部分を持って運ばないでください。
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。**
  万一の漏れを防ぎます。
- **飲み終わったら、本体を立て、ふたキャップを確実に閉めてください。**
  本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。
- **パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。**
  万一、内容物が漏れた場合、精密機器の、破損の原因になるおそれがあります。
- **炭酸飲料を入れている時は故意に振らないでください。**
  ボトル本体の圧力が高くなりすぎて危険です。破裂するおそれがあります。
- **炭酸飲料に氷を入れると炭酸が早く気化します。ご注意ください。**
- **本製品に異常、変形がみられる場合は絶対に使用しないでください。**
- **開栓時はふたキャップを手で抑えながらゆっくり、ふたを開けてください。**
  炭酸を入れている場合は、本体内部のガスを逃がしながら開けてください。

ご使用方法（通常の水筒としてのご使用）

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品に ガタつき、破損などがないか確認してからご使用ください。
  不具合があった場合、使用しないでください。
- あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1 分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。

1 ふたユニットをはずす

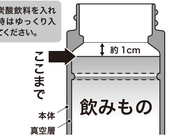
①飲み口カバーをはずす。

②飲み口をはずす。

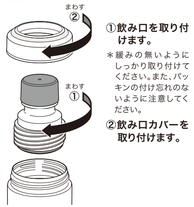
2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の➡部までにしてください。入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを閉めてください。

炭酸飲料を入れる時はゆっくり入れてください。



3 ふたユニットの取り付け



①飲み口を取り付けます。
※緩みの無いようにしっかり取り付けてください。また、パッキンの付け忘れのないように注意してください。

②飲み口カバーを取り付けます。

4 飲みものを飲む

ふたキャップを開けて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。
※飲み口に残っていた水滴が飛散することがあります。ご注意ください。
※緩みが無いようにしっかり取り付けてください。また、パッキンを忘れないように注意してください。

飲み終わったら本体を立て、ふたキャップを閉める。

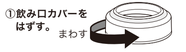
ご使用方法（炭酸生成容器としてのご使用）

ご使用の前に

- **ご使用になる際は、本体、ふたユニットに傷、摩耗、変色、損傷がみられる場合にはご使用を止めてください。ガス注入時に破裂や怪我をするおそれがあります。炭酸生成には冷水をお使いください。**
- **常温の水で炭酸を生成すると泡が立ちやすくなり、溢れやすくなります。炭酸を生成する時はよく冷えた冷水をご使用ください。**

1 ふたユニットをはずす

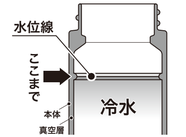
①飲み口カバーをはずす。



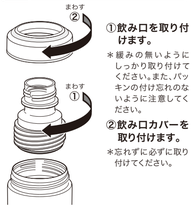
②飲み口をはずす。

2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の➡部までにしてください。水位線よりも入れすぎた場合は、炭酸生成時に溢れますので減らしてください。



3 ふたユニットの取り付け



①飲み口を取り付けます。
※緩みの無いようにしっかり取り付けてください。また、パッキンの付け忘れのないように注意してください。

②飲み口カバーを取り付けます。
※忘れずに必ずに取り付けてください。

4 炭酸を生成する

ボトルを炭酸生成機の適切な位置に設置してください。

生成は1秒注入し、5秒間隔を空けてから再びガスを注入してください。
※生成の手順はお手持ちの生成機の取扱説明書を参照ください。
※緩みが無いようにしっかり取り付けてください。また、パッキンを忘れないように注意してください。

生成終了後は本体を立て、ふたキャップを閉めてください。

⚠ 炭酸水生成時の注意

- **本製品に亀裂、損傷、変形がみられる場合は絶対に使用しないでください。また、スムーズに開閉できない場合も使用をお止めください。**
  製品の破損、破裂に繋がる危険があります。
- **落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。**
  変形やわれ、保温・保冷不良の原因になります。本製品の破損原因になります。
- **炭酸水を生成中にボトルを外さないでください。**
  ボトル内のものが飛び散り、ものや周りを汚す危険があります。
- **ボトルが空の状態で炭酸を注入しないでください。**
  ボトル本体の圧力が高くなりすぎて危険です。破裂するおそれがあります。
- **炭酸生成機で使う場合、炭酸水生成以外の目的で使わないでください。**
  人体に対する重大な怪我、損傷が発生するおそれがあります。
- **水以外のものが入っている場合は炭酸を注入しないでください。**
  ノズルに水以外のものが触れると故障、カビの原因になります。
- **炭酸を生成するときに氷を入れないでください。**
  氷は生成後にボトルに入れてください故障の原因になります。
- **ボトルを炭酸生成機にセットした際、ボトルが垂直になっていることを確認してください。**
  炭酸生成中抜けたり、炭酸が漏れる可能性があり危険です。
- **お子様の使用はお止めください。**
  ボトル本体の圧力が高くなり万一の時に大変危険です。
- **改造・修理・分解は絶対にしないでください。**
  破損、事故の原因となり危険です。
- **開栓時、大きい音が鳴ることがあります。ご注意ください。**